

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	コンビニ（エリア担当）	・タスポの導入に伴い、たばこ自販機から店内に入が流れるため、来客数が増加する。
	やや良くなる	一般小売店〔時計〕（経営者）	・近くにスーパーが出店するため、集客が見込める。
		コンビニ（エリア担当）	・売上の回復は継続し、今後は前年同月の売上を上回る。
		コンビニ（企画担当）	・コンビニ業界の特殊事情による一時的なことではあるが、東海地域では6月1日からタスポが導入されるため、タスポを作っていない人は、自販機でのたばこ購入ができなくなる。タスポを取得するには数か月間掛かるため、一時的に良くなる。
変わらない	商店街（代表者）	・経費が増えるばかりで、良くなる材料は全く見当たらない。しかし、今月が最悪なので、これ以上は悪くならない。	
	商店街（代表者）	・原油と原材料の価格高騰は今後も続くが、客の節約にも限界があるため、今後は若干動きが出てくる。	
	百貨店（企画担当）	・客は価格にシビアになっているため、7月のクリアランスセールは期待できる。しかし、ヒット商品が見当たらないため、厳しい状況は今後も続く。	
	百貨店（企画担当）	・4月以降来客数の大幅な減少が続いており、この状況は2、3か月先も続く。	
	百貨店（経理担当）	・紳士用品の不調は不安材料であるが、全体としては今後も前年並みである。	
	コンビニ（エリア担当）	・タスポの導入はコンビニには追い風であるが、その一方で他店との競争が厳しくなるため、全体としては変わらない。	
	乗用車販売店（経営者）	・ガソリン価格の高騰に伴い、軽自動車へシフトする動きは、今後も続く。ただし、ガソリン価格がこれ以上値上がりすると、軽自動車も買わないという動きが出てくる。	
	乗用車販売店（従業員）	・新型車の販売増加は見込めるが、既存車種が売れないため、全体としては変わらない。	
	乗用車販売店（従業員）	・ガソリン価格の高騰などで、新車販売は厳しい状況が続く。引き続き整備や保険販売に力を入れて、収益確保に努める必要がある。	
	乗用車販売店（従業員）	・徐々に悪くなってきており、この先も引き続きこの傾向が続く。	
	乗用車販売店（総務担当）	・ガソリンや食品の価格上昇は今後も続くため、自動車の購入は様子見が続く。	
	住関連専門店（営業担当）	・建築確認申請問題でこれまで低調であった個人住宅の動きは、今後は平常に戻る。しかし、マンション、アミューズメント施設や企業の設備投資に伴う新築物件は、今後は減少していく。	
	都市型ホテル（従業員）	・数か月先の予約数は例年並みである。	
	旅行代理店（経営者）	・食料品価格の値上がりがこのまま続くと、夏の家族旅行の予算も減少する。しかし、ガソリン価格の高騰により、自家用車の利用を控えて飛行機や電車を利用する人が増加するため、全体的には変わらない。	
	旅行代理店（従業員）	・夏の旅行商品の販売状況は、販促品を付けているにもかかわらず、低調である。国内旅行では、特にホテル予約の単品商品が、インターネットによるホテル直販が増加しているため、旅行会社の売上に影響が出ている。	
	ゴルフ場（経営者）	・来場者数は増加しているが、料金は低下傾向にあるため、数か月先も変わらない。	
	住宅販売会社（従業員）	・ガソリンや食品の価格高騰に伴い、低所得者層はより低賃料のマンションへと移動するなどの影響が表れる。	
	その他住宅投資の動向を把握できる者〔室内装飾業〕（経営者）	・見積依頼等の引き合いが、依然として低調である。	
	やや悪くなる	商店街（代表者）	・ガソリン、原料の小麦粉、包装資材の価格高騰は今後も続くが、販売価格に転嫁することは難しいため、今後はやや悪くなる。
		商店街（代表者）	・北京オリンピック開催が間近になっても薄型テレビ等の売行きは今一つである一方で、ガソリン価格の高騰に伴う買い控えも続き、今後も厳しい状況が続く。
一般小売店〔酒類〕（経営者）		・飲食材の価格高騰は今後も続くため、消費者の財布のひもは更に固くなる。	

一般小売店〔自然食品〕（経営者）	・運賃、包装材等あらゆる原材料に値上げの動きがあり、今後は商品の値上げをせざるを得ない。
一般小売店〔酒類〕（経営者）	・あらゆる分野に値上げが広がり、メーカーも商店も打つ手が見当たらない。
一般小売店〔書店〕（経営者）	・周辺では家電量販店、コンビニが相次いで閉店し、客の流れが徐々に変化している。今後も一段と厳しくなる。
百貨店（販売担当）	・素材価格の高騰に伴い、貴金属の価格も上昇する。また、秋以降の流行も見当たらない。
百貨店（販売担当）	・ざん新なファッション商材が見当たらず、楽しさを求めるというよりは、無難な傾向になっている。そのため、今後の購買意欲も低下させる。
百貨店（販売担当）	・夏休み期間中は、客の外出が分散する。そのため、ヒット商品がこのまま出現しないと、今後は厳しくなる。
スーパー（経営者）	・原油、原材料の価格高騰が続くため、今後も経費の増加は避けられない。メーカー、小売店、客のすべてが、経費の削減や節約に取り組まねばならず、今後も厳しくなる。
スーパー（経営者）	・燃料価格の高騰に伴う各種関連商品の値上げにより、買い控えは今後も進む。
スーパー（店長）	・ガソリン価格の一層の高騰が、家計を更に圧迫する。また、食品の値上げも控えており、特売商品へのシフトは加速する。それに伴い、収益も圧迫される。
スーパー（店長）	・原油価格の高騰に伴い、値上げラッシュは今後も続き、客の財布のひもは一段と固くなる。
スーパー（店員）	・うなぎを始め今後も値上げ予定の商品があり、買い控えは今後も続く。
スーパー（仕入担当）	・メーカーや問屋からの特売条件が厳しくなり、特売ができなくなった商品や、広告に出せない商品が増加している。その一方で、赤字覚悟で特売を継続しているスーパーもあり、一段と厳しい状況が続く。
コンビニ（経営者）	・40年間営業していた近隣のスーパーが閉店する。このような厳しい状況は今後も続く。
コンビニ（店長）	・アルコールの売上は、発泡酒から、更に低価格の第3のビールにシフトしてきている。価格に敏感な傾向は今後も続く。
衣料品専門店（企画担当）	・諸物価の高騰が相次ぐ一方で、消費を引き上げる要素は全くない。
衣料品専門店（販売企画担当）	・原材料価格は今後も上昇し、悪くなる一方である。
衣料品専門店（売場担当）	・諸物価の高騰が続くため、消費者の財布のひもは一層固くなる。セールが始まって、爆発的な売上は見込めない。
家電量販店（店員）	・北京オリンピック開催に伴いAV機器の売行きは良くなるが、他の電化製品が買い控えられる。冷蔵庫などの白物家電の買い換えも一巡しており、需要は前年を上回らない。
乗用車販売店（従業員）	・夏のボーナス期を迎え、各社は主力のワゴン車を投入する。しかし客との会話では、ガソリンを始め諸物価の高騰により、余裕資金は無い様子である。
その他専門店〔貴金属〕（店長）	・客との会話では、将来が不安なので貯蓄しているという話をよく聞き、購入意欲は今後も高まらない。
一般レストラン（経営者）	・ガソリン価格の高騰により、週末の行楽客は減少していくため、影響を受ける。
一般レストラン（スタッフ）	・来客数は変わらなくても、原材料の高騰に伴い、利益は減少する一方である。
その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・原材料価格の高騰がこのまま続くと、経営は一段と厳しくなる。
観光型ホテル（経営者）	・石油関連製品の値上がりに伴い企業業績が悪化しているため、所得も伸びておらず、その影響で2、3か月先の景気は悪くなる。
観光型ホテル（販売担当）	・前年の6、7月も宿泊、宴会共に良くなかったが、今年は前年よりも更に受注状況が思わしくない。
都市型ホテル（支配人）	・食材を始め経費がかさんでいる一方で、来客数は減少しているため、今後も価格に転嫁できない。低価格ホテルが市内に相次いで開業しており、ある程度影響が出ている。
都市型ホテル（営業担当）	・諸物価の高騰に伴う買い控えにより、リピート率が低下している。今後も厳しくなる。
旅行代理店（経営者）	・米国系でも、旅行会社への手数料支払いを打ち切る航空会社が現れ、収益はますます圧迫される。
美容室（経営者）	・生活必需品の物価がかなり上昇しているため、美容関連は後回しになる。
美顔美容室（経営者）	・諸物価の高騰が、今後も影響してくる。

		理容室（経営者）	・安い理容店の出店が相次ぎ、年配客を始め、少しでも安い店へと流れていく客が増える。
		設計事務所（経営者）	・個人住宅の不調が続くことに加えて、今まで比較的堅調であった企業案件が少しずつ減少していく。
		住宅販売会社（経営者）	・諸物価の高騰に伴い、月々のローン返済が厳しくなるため、住宅の買い控えは一層進む。
		住宅販売会社（従業員）	・住宅ローン控除の適用が終わる7月から、住宅販売は苦戦する。
		住宅販売会社（従業員）	・新築住宅の注文は減少して、増改築が増加する。仕事量は増えるが、売上、利益は減少する。
		住宅販売会社（企画担当）	・ガソリン価格の再値上げや運送費の高騰など、今後も好材料がない。
	悪くなる	百貨店（売場主任）	・販売している靴の価格が値上がりするわけではないが、他が値上がりしているため、買い控えは続く。財布のひもを固くしている客が多く、今後も売上は減少する。
		百貨店（企画担当）	・消費意欲の低下が続くことに加えて、オリンピック開催中の出控えもあり、悪い状態が続く。
		住関連専門店（店員）	・雑貨の売行きは前年よりも良いが、高額品は売れていない。1月後半から停滞し始め、今月中旬に一気に落ち込んだが、今後は一段と悪くなる。
		高級レストラン（スタッフ）	・集客のために手を尽くしても反応がなく、今後は一段と厳しくなる。
		一般レストラン（従業員）	・ガソリン価格の高騰が続くため、一層悪くなる。
		美容室（経営者）	・諸物価の高騰のなか、所得は増えておらず、美容院の利用は節約される。
企業動向関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	窯業・土石製品製造業（経営者）	・住宅販売が多少好転するため、窯業界もやや良くなる。
		窯業・土石製品製造業（社員）	・ガソリン価格の高騰により、ハイブリッド車の人気が高まり、電池やモーター用の磁石の注文が増加している。この状況は今後もしばらく続く。
		一般機械器具製造業（営業担当）	・8月までは、受注量の増加が続く。
	変わらない	金属製品製造業（経営者）	・供給過剰は今後も続く。また、原材料費の値上がりも続くため、引き続き非常に悪い状況となる。
		電気機械器具製造業（経営者）	・中国を始めとする海外からの需要は増加する。しかし、国内での需要は減少するため、全体としては変化はない。
		広告代理店（制作担当）	・提案している企画案件が、なかなか先に進まない。
	やや悪くなる	食品製造業（企画担当）	・原材料価格の高騰に伴い、製造原価の上昇の一部を製品価格に転嫁するため、販売数量は減少する。また、今後燃料費が更にかさむため、企業収益を圧迫する。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・取引企業の業績が悪化しつつあるため、広告掲載に対してマイナスの影響が出てくる。
		化学工業（総務担当）	・原材料価格の高騰により、販売価格への転嫁を進めている。そのため、受注量は減少する。
		金属製品製造業（従業員）	・原材料の価格高騰分を販売価格に転嫁したいが、今後も困難である。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・原材料等の価格高騰の影響が、今後徐々に収益を圧迫する。
		電気機械器具製造業（経営者）	・原材料価格の高騰に対する製品価格への転嫁は、何とか認められた。その代わりに、今後の注文や再値上げ交渉への影響など、困難な状況が生じる。
		輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・大手製鉄メーカーと自動車メーカーとの間で、鋼材価格の引き上げが合意された。今後、もう一段の引き上げが予定されているが、その分の価格を転嫁できるかどうか不透明である。
		輸送用機械器具製造業（統括）	・主力取引先からの受注量は、若干減少する可能性がある。
		輸送用機械器具製造業（財務担当）	・企業の設備投資や経費支出は、今後急激に落ち込む。
		輸送業（経営者）	・現在の原油価格の高騰が、来月以降徐々に軽油価格に反映されていく。
		輸送業（従業員）	・原油価格の高騰は今後も続き、原材料や食料品の値上げも続くため、貨物量も減少する。
		輸送業（エリア担当）	・自動車関係の設備投資が極端に減少しており、今後はその影響が出てくる。
		通信業（営業担当）	・原油価格の高騰など、厳しい条件は今後も続く。

		広告代理店・新聞販売店「広告」	・各業種における業績悪化が、販売管理費に影響を与えるため、広告量は減少する。
	悪くなる	鉄鋼業（経営者）	・鋼材の価格高騰は今後も続く。それに伴い、資金繰りに困る企業が出てくる可能性がある。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・鋼材価格が既に20%上昇し、7月にも更に20%上昇する。そのため、収益は悪化する。
		不動産業（開発担当）	・今後も原価の上昇が続く。
		公認会計士	・原材料価格の高騰により収益の悪化が進み、自動車関連企業の業績も頭打ちになる。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	新聞社「求人広告」 （営業担当）	・自動車関連の生産調整や住宅着工件数の減少は、今が底である。今後はやや良くなる。
	変わらない	人材派遣会社（営業担当）	・今月の求人数の動きは前年並みになっており、今後一段と悪化することはない。
	やや悪くなる	人材派遣会社（支店長）	・円高や原材料価格の高騰により収益が圧迫されるため、労務費の削減が推進される。
		人材派遣会社（社員）	・求人数が減少傾向にある一方で、リストラされた人による求職数が増加傾向にあり、今後の景気はやや悪くなる。
		人材派遣会社（社員）	・大企業では派遣社員数が横ばいになっており、今後の人員計画も減少になっている。
		人材派遣会社（営業担当）	・今後も各業界で、原材料価格の高騰による経費の増加が続くため、求人数は減少する。
		求人情報誌製作会社（企画担当）	・製造業や製造関連の請負業を中心に、人員の充足が進んでいる。採用活動も停滞傾向にある。
		新聞社「求人広告」 （営業担当）	・求人広告数は、減少傾向にある。また、派遣、アルバイトの非正規社員の減少に加えて、正社員募集の減少も目立っている。
	職業安定所（職員）	・原油、原材料の価格高騰により、今後は採用を見直す企業が一層増える。	
	悪くなる		